

お知らせ

令和7年分の確定申告の受付は
2月16日(月)から3月16日(月)
までです。期限内に提出できる
ように早めに御準備を。

岩 沢 通 信

第85号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢福祉会

岩沢地域振興協議会・岩沢分館

編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

年頭のご挨拶

岩沢地域振興協議会

会長 長谷川 正夫

新年明けましておめでとうござい
ます。皆さまには健やかな新年をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

連日の雪かき、排雪、雪降り作業で大変な
日々をお過ごしと思います。みんなで協力
し合いこの降雪期を乗り越えましょう。

最近、横文字を使った訳の分からない言葉
やネット情報などの氾濫する社会現象が起
きています。お年寄りが会話についていけ
ないことの方が多くなっています。多くの
情報が交差する社会、私たちも「何が真実
か」、「裏に何が隠されているか」、「核
心は何か」見極める目を磨かねばならない
と思うところです。くれぐれも「うまい
話」には気を付けましょう。

今年も、住みよい岩沢の郷土愛を生かした
「地域振興」を目指し、みんなが知恵を出
し合い「岩沢で暮らしていい良かった」と
思える地域にしていきたいと思っております。
皆様のご協力をお願いいたします。
本年も健康で充実した良き年になりますよ
うお祈りいたします。



年頭挨拶

岩沢アチコタネーゼ

代表 駒井 和彦

新年あけましておめでとうございま
す。岩沢アチコタネーゼ 代表の駒井和
彦です。発足時の初代代表、そして副代
表として皆様と共に歩んで参りました
が、昨年の総会にて、再び代表の任を預
かる事となりました。

これまで農家レストラン「より処 山
紫」の運営や学生インターンの受け入
れ、都市交流事業(田植え・稲刈り体
験)、有償除雪ボランティア、収穫祭や
朝市の開催、他イベント出店等、多岐に
渡る活動を続けて参りました。その根底
にあるのは常に「人が関わり、地域が動
く」という信念です。今年は午(うま)
年。馬が駆けるが如く、前へ前へと力強
く突き進む一年にしたいと考えておりま
す。人口減少は避けられない現実です
が、だからこそ「人は減っても、豊かで
活力ある岩沢」を形にする為の挑戦を止
めません。現場で汲み取った皆様の切実
な声を、市議会議員としても、市政へと
繋ぐ役割を全うして参る所存です。
本年も変わらぬご理解とご協力を、心
よりお願い申し上げます。



岩沢商工業会新年会

頑張っているまじょ
う」と開会挨拶。
会には来賓として宮
崎悦男小千谷市長、長谷川正
夫岩沢地域振興協議会会長、
小林大輔岩沢駐在が招かれ
た。宮崎市長は「昨年はJ S
フアンタリの経営破綻や厚生
連小千谷総合病院の経営危機
など様々な問題が小千谷市
で起きました。また、柏崎
刈羽原発の再稼働の知事判
断など、半径30キロ圏内に
位置する小千谷市にとって
も大きな動きがありました。
た。動乱の一年ではありま
したが、市政を止めること
なく、あらゆることに挑戦
してまいります」と挨拶。
その後長谷川振興会長の
挨拶と乾杯で新年会がスタ
ート。参加者はお酒を酌み
交わしながら、親睦を深め
た。



岩沢地域振興協議会新年会

豪雪期とは思えない穏やか
な日差しの中、1月18日(日)
住民センターを会場とし
て、岩沢地域振興協議会の新
年会が評議員を対象に盛大
に開催された。

長谷川正夫会長からは
「日頃から岩沢地域振
興協議会の運営にご理
解とご協力をいただき
感謝申し上げます。他
の地域同様、岩沢も人
口が減り高齢化が進
んでいますが、それ
でも住んでいる方が
岩沢で良かったな
と思うような地域
づくりを行って行き
たい」と挨拶。来賓
の宮崎悦男小千谷市長から
は「小千谷市には様々な課
題がありますが、岩沢地域
の移動の確保や公共事業に
もしっかりと取り組んで参
ります」と力強い言葉があ
った。その後、顧問の駒井



和彦小千谷市議の挨拶と乾杯
で新年会がスタート。
今年は委員の身内に不幸が有
るなどして、例年に比べて少
ない参加者となったが、そ
れぞれ酒を酌み交わし懇親を
深めた。



各町内(地区)にてさいの神が行われる



1月11日(日)小正月の行事である「さいの神」が各町内や隣組単位で開催された。天気予報では大雪や強風の懸念があったが、役員の願いが通じたのか、時より強い風が吹く程度でまずまずの開催日となった。

桂町内では五由里神社境内において、約80人を集めてさいの神の前に雪上リクリエーション大会を開催。「お菓子釣りレース」や「パン掴みレース」などに老若男女が参加し、多くの賞品を持ち帰った。また初めての企画として、雪だるまコンテストを開



催。二組に別れて、コスギを使った雪だるま作り、大人も子どもも真剣に取り組んだ。午前11時、境内に組まれた塔に厄年の年男と年女たちが点火すると周りは熱い炎に包まれ、炎が落ち着くと参加者は一斉に竹竿の先に付けたスルメを焼いて食べた。家に持ち帰り、今年一年の無病息災、五穀豊穡を願った。

他にも山谷の隣組や市ノ口でさいの神やどんど焼きが行われ、岩沢地区は今年一年の家内安全や平穩無事を祈る行事に包まれた。



編集後記

地域の皆さん、今年も「岩沢通信」どうぞご愛読ください。

例年1月はネタ不足から休刊としていたのですが、以前の上司から「2月に新年の挨拶があるのは遅すぎるのでは? 縮小版でも良いから1月版を発行しては」とのアドバイスをいただいたので、せめて縮小版の発行と考えていたのですが、結果通常サイズでの発行となりました。これはこれで良

ったと感じています。話変わって、年末年始と東京の娘の所に遊びに行ってきた。新潟と違って、関東は晴れのぼかぼか陽気。初詣は妻のボクエスで靖国神社へ。境内に入ると何か賑やか



お付き合い。鈴木氏とはともフレンドリーで私と妻の手を取り写真にに応じてくれました。そういえば氏は大

令和8年(2026年)カレンダー交換会を開催

家庭や職場で使用しない令和8年のカレンダーを集めて、必要な方と交換するカレンダー交換会が1月10日(土)午前9時から午後3時まで、本町「ホントカ。」にて開催された。

岩沢地域から提供されたカレンダーも並べられ、開館直後には多くの参加者が駆けつけ会場は大賑わい。例年好評の大判のビジネス手帳や日めくりカレンダーは早々に無くなり、午後から来た人は残念がっていた。当日は約200人の参加者があり、午後3時終了時には用意したカレンダー数十部を残すのみ。その後12日まで自由に持ち帰りとしたところ、残りも全て引き取られていった。

交換会は「絵紙と小千谷のひいな祭り」のイベントとして組み込まれ、今年は昨年と日程を変更し3月28日から4月5日までの開催とした。会場もサンプラザをメイン会場として市内各地で絵紙の展示や着物ショー、みんふうざの出演が予定されている。詳しくはホームページやポスター、チラシなどを見て欲しいとのこと。

<https://ojiyahiina-fes.localinfo.jp>

